

令和2年度 大阪府立牧野高等学校 第1回学校運営協議会 議事録

日 時 令和2年7月28日(火) 15:30~16:30

場 所 大阪府立牧野高等学校 校長室

出席者 協議会委員 松宮 新吾(会長)、有堀 正彦(副会長)、福原 哲晃、尾崎 順子
岩佐 理恵、(田中 博 委員は校務のため欠席)

(敬称略) 学校長 日笠 賢

事務局 東尾 茂宏、石田 暁、大塚 正宣、中務 正和

1. 開会

○挨拶 松宮会長より

コロナ禍の中、本協議会を開催でき幸運である。本日、校門を入り生徒が普通に活動している姿を見て安心した。大学ではクラスターなどによる感染が発生している。高校は単位認定が必要なので、教育の質を確保していただきたい。本日の協議会では忌憚のない意見をいただきたい。

○挨拶 学校長より

本日、学校運営協議会を持ち回りではなく、この時期に委員の皆様にお集まりいただけたことに感謝申し上げます。先週、今週と本校近隣の高校でも生徒や学校関係者に新型コロナウイルスの感染者が出て、学校休業になっています。もう身近なところまで新型コロナウイルスが忍び寄っていると感じています。昨年度の第3回の協議会以降、新型コロナウイルス感染症対応のために、国からの要請や大阪府教育庁の指示で、本校も3月から3か月間学校休業するなど、いろいろなことがありましたので、順次報告させていただきたいと思います。

○構成員紹介 自己紹介

2. 令和元年度学校経営計画及び学校評価について・・・学校長より報告

授業評価については、第2回の授業アンケートの評価が全ての授業において、平均 3.24と授業改善が続いている。他校と比較しても高い水準である。いじめに関しても年2回のアンケートを行い、生徒にヒアリングをし、自己診断でも評価は高い。防災訓練では昨年度は消防のみであったが、今年度は地域との防災協力による合同避難訓練の協議を始めている。国公立大学への進学実績として、センター試験の出願者は 77.4%。国公立大学の現役受験者は 18%(63名)であり、現役合格者は 14名の 4%(14%)と、目標の 8%を大きく下回る厳しい結果となった。大学入試制度が変わり、大学入試センター試験が大学入学共通テストとなることから、浪人を避ける安全志向が強くなる傾向となった。結果として、指定校推薦等で早く決まるところで受験を止めて、従来とは異なる大学に多数の合格者が出た。国公立大学は3月の最後まで受験できるので、辛い最後まで頑張れば良い結果はでるといふ傾向にある。今年は浪人が 11人合格したので、合計 25人が国公立大学に合格した。その他は昨年度第3回で報告した内容と同じである。

●意見：入試の件の情報としては、追加の補欠合格を大量に出した大学もある。今年は共通

テストになるので、混乱しそうである。複数回ある受験機会を生かして欲しい。

- 学校長：新型コロナウイルス感染症の影響に伴う学業の遅れのために、従来日程と、それより2週間後の日程と、2回実施される予定の来年1月の大学入学共通テストについて、本校で先日、アンケートを取った結果、約9割は従来日程を考えており、1割が後半日程を考えている模様である。全国的にも同じような傾向が報告されている。後半日程にした場合、私立大学の一般入試に間に合わないとか、国公立大学を含む個々の大学の受験準備の時間が無くなるとかの不安があるようだ。どちらの日程を選ぶかは、高校ごとではなく、個人個人が選ぶことになっているのも、日程設定の趣旨からして如何なものかとは思いますが、生徒一人一人の人生がかかっている事柄でもあるので、今年は特に丁寧に進路指導をして行かなければならないと考えている。

3. 令和2年度学校経営計画及び学校評価について・・・学校長より報告

昨年度第3回協議会にて説明した内容の修正箇所は、国公立大学の結果から今年は現役合格率の目標を6%とした。牧野高校の生徒の動向として、同志社大学への進学ニーズが高いため、そのことにも触れた。

4. 学校の状況等について

新型コロナウイルス感染症対応について説明をする。3月1日に卒業式を保護者出席で実施した。保護者にとっての卒業式でもあるのでギリギリのタイミングであったが実施できた。3月2日から学校休業を実施。教育庁から3月23日にクラブ再開する旨の通知があったが、前日になって中止の指示が出た。この間、選抜入試は滞りなく実施し合格発表まで行った。学校休業は春休みまでとのことで、4月8日に行う予定であった入学式は、生徒と教員のみで行う指示が出た後、前日になって、5月の連休明けまでは学校休業するとの指示があり、入学式自体も行うこともできなくなった。学力保障のために、学校に置いてあった2、3年生の生徒の教科書等は、学年、クラス等を事前に指定をしてドライブスルー方式で、自家用車で来た家庭や自転車できた生徒に渡すことができた。

この間、メールで全生徒の家庭と繋がる様にして課題の配信を5月7日まで行った。5月8、9日と学校休業を延期された後、更に5月末までの休業が決定した。5月後半の2週間は、クラスを4つに分けて10人ずつの分散登校や、クラスを3つに分けての13人ずつの分散登校で、健康状態や課題の確認を行い、3年生は、5月最終週だけクラスを2つに分けて20人ずつの登校で授業にカウントできるようになった。6月1日から、全学年が授業カウントできるようになり、1クラス20人ずつにして2日で1日分の授業を終わらせる形の対応を2週間行い、6月15日から完全な形での通常授業を開始した。高校は単位を与えるためには、35週175日の授業日が必要で、現段階ではこれ以上は休めない状況にある。

6月1日に本校は外部の学習ツールであるスタディサプリを全学年の生徒に導入した。オンライン授業の開始に伴い、即時性と網羅性を確保するために、教員による手作り動画の作成のみならず、5教科についてはアウトソーシングによる外部の先生の動画を使うことで、教科書をカバーし、課題の提示と提出が双方向で確認できる体制にした。加えて、大阪

府教育庁が全府立高校に案内したG-Suiteを本校も導入して、5教科以外の教科を含めて、6月中に全教科で全ての生徒が動画を利用して学習し、課題の送付と提出を双方向で出来る体制ができた。ただし、学校側のWifi環境による通信能力の限界から、25のクラスの1千人の生徒が、同時に双方向でオンライン接続をして授業をすることは不可能で、実際のところはオンデマンドでの動画利用による授業が出来るようになったというところである。

今後、生徒や教職員、学校出入業者等が感染した場合は、3日間休業して保健所の指示の下で校内消毒を施した後に、すぐに再スタートすることになっている。しかし、濃厚接触者が出た場合、PCR検査等のために追加で3日程度休業する可能性がある。願わくは、生徒や教職員の感染者が出ずに、年度末を迎えたい。

今年度は体育祭も文化祭も実施できない代わりに、9月10日に、「牧高フェス2020」を熱中症の不安の無い大阪市中央体育館で、体育祭に近い形で文化祭と融合させて実施する。

●意見：教室でクラスターが発生しないようにするために三密を回避する牧野高校としての対応策はどのようなものか。

●学校長：密閉に関しては、換気の必要性から、教室等の窓を開けたままエアコンの温度は従来の設定温度よりも一層下げても良いと指示をしている。食堂と図書館は透明な仕切り板を置いて生徒同士の密接を避けるように対応している。食堂が密集になりやすいので、エアコンの利く会議室を昼食時に限って第2食堂として利用できるようにしている。教室での生徒の机椅子の固定化は難しく、選択授業や少人数展開もあるので、座席の固定化がなかなかできない。ドアノブなどはアルコール消毒を行っている。次亜塩素酸や表面活性剤による消毒は、3度も4度も拭く必要があるために他校では教員がそれで疲弊しているという話を聞くが、本校ではアルコール消毒だけにして、出来る限り手間を少なくして疲弊化をしないようにしている。

●意見：牧野高校の教員の平均年齢も高いので教員の健康管理どうか。

●学校長：マスクではしゃべりにくい教員には、フェイスシールドやマウスシールドを学校独自に購入し、配布したり、マイクを使わせたりしている。大阪府からの追加予算の支給は殆どないが、国から資金が府立高校各校に3百万円ほど配分されるとの連絡があったので、食堂のエアコン設置や消毒液の追加購入に活用する。

●意見：国のGIGAスクール構想は小学校と中学校にWiFiとタブレットを入れようとしているが、高校はどうか。また保護者とはオンラインで連絡はとれているのか。

●学校長：生徒については、次年度に一人1台のタブレット配布が計画されているようだ。その前に、教員に一人1台の授業用パソコンかタブレットがほしい。本校は全普通教室を含め35の教室に電子黒板機能付きの超短焦点プロジェクターを付けているので、ICTを活用した授業が出来る環境は整っている。保護者との連絡網は従来からあったが、全てが繋がっているわけではなかった。4月以降の新型コロナウイルス感染症への危機対応で、現在は生徒、保護者及び教職員で2,300名がメールで繋がっている。また、生徒はスタディサプリでも全員が繋がっており、危機における安否確認にも使えるようになっている。

加えて、教育庁が推進したG-Suiteでも生徒には連絡が取れる。コロナウイルス感染症の危機対応で、一気に3つの連絡網ができた。

- 意見:地域にもよるが、小中学校で5%の家庭でWiFiがない家庭があるが対応はどうか。
- 学校長:本校でWiFiがない家庭はほぼない状況である。必要なら個別に対応する。
- 意見:今年度は夏休みも短い。8月7日終業式で、8月18日からスタートとなっているが、生徒の体調面への配慮が必要ではないか。
- 学校長:本日まで授業を行っていたが、従来はこの酷暑の時は夏休みであり、生徒も教員も授業中の集中力を保つのが難しいという声が聞こえてきている。生徒のみならず教職員についても、肉体的、精神的に体調の管理に配慮したい。

5. 教科書採択事務について・・・教頭より報告。

6. 協議

- 意見:コロナに関して学校に来にくくなっている生徒はいないのか。
- 学校長:新入生には特に見られないが、学校全体では若干名、学校再開後から教室に入りにくくなった生徒はいる。学校休業中に生活のリズムが狂った可能性もある。既に本校のスクールカウンセラーに対応してもらったり、医師の診察を受けてもらったりしている。保護者とも連携しながら、保健室から授業に行くなど、学校に出来る限りの対応をしているところである。
- 意見:コロナで課題が見えたようだ。インターネット環境が不足していると感じる。牧野高校に限ったことでなく、府立高校の課題と感じた。
- 意見:今年度の修学旅行はどうするのか。
- 学校長:海外を予定していた学校は、全て国内に変更になっている。本校は10月に予定通り沖縄へ行く計画である。2泊を民泊の予定であったが、最近になって民家の受入れが難しくなったという連絡があり、3泊全てをホテル泊で対応するようにした。日程を変更すると、宿泊場所等が取れなくなる恐れがあるので、今後事情が変わらなければ予定通り10月半ばで実施したいと考えている。

■事務連絡 第2回は12月上旬、第3回は2月上旬を予定。

7. 閉会 学校長より

コロナ禍の中、本日は貴重なご質問やご意見をいただき、ありがとうございました。生徒にとっては、この1年は1年しかないので、学校休業で失った時間を早く取り戻し、学力をしっかりとつけさせることに尽力しながら、行事でも生徒の力を十分につけられるように、努めて行きたいと思います。今後とも、ご支援、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。